

質問

米作りの難題、草刈り支援を

町長

中山間直払いの制度活用を



たじき 道弘 議員
田食

質問 後継者難と高

齢化で離農が加速している。耕作地を引き継ぎ管理する担い手農家、集落営農、農業法人の耕作農地拡大には限界が来ている。その障壁の一つは畦畔の雑草管理、草刈りだ。



畦畔の草刈りは大きな負担

岡山県奈義町では大型のリモコン草刈機27台を一括導入し、各地区に配備している。

このような思い切った支援が必要では。

町長 まず国の事業である中山間地域等直接支払いや多面的機能支払いの制度を活用していただきたい。先行自治体の新たな取組みは注視しながら、本町の農業

支援を考えていきたい。

再質問 奈義町では

町長が各地区で開催した懇談会や農家の生の声は、「草刈り作業が大変だ」と聞き、これは何とかすべきという思いにいたり、今回の事業を発案されたようだ。

本町でも、農家、住民の本当に困っている事柄を取り上げる手法はないのか。もっと農業団体、農家団体、グループなど直接出かけて話を聞いてはどうか。

町長 大事な指摘だ。例えば農業なら私と農業振興課長だけで皆さんとの意見交換とか意見を聞く機会を設けるなど、考えていきたい。

学校給食は完全無償化を

質問 高市首相は学

校給食無償化について、8年4月から実施すると表明した。その補助金財源として国と地方の負担割合が焦点になっている。全額国費負担とすべきだがどうか。

その他の質問

「福祉灯油」の制度

町長 当然、国の責務で無償化すべきと考えている。全国町村会も小中学校同時実施と全額国費での措置を国に要望している。



給食も教育の一環（横田小）